



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <https://ir.itfor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 恒徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,462	15.7	2,684	24.8	2,771	24.4	1,906	25.9
2023年3月期第3四半期	12,502	2.1	2,150	7.9	2,227	7.7	1,514	6.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,134百万円 (39.3%) 2023年3月期第3四半期 1,532百万円 (0.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	69.91	69.74
2023年3月期第3四半期	54.86	54.72

(注) 「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、取締役向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	22,005	17,647	80.1	652.90
2023年3月期	21,667	17,167	79.1	618.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 17,634百万円 2023年3月期 17,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		30.00	30.00
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	14.6	3,400	5.7	3,460	5.5	2,370	3.4	87.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上、取締役向け株式交付信託が保有する当社株式を期末発行済株式数から控除する期末自己株式数に含めております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	28,611,900 株	2023年3月期	29,430,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	1,602,098 株	2023年3月期	1,722,504 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	27,277,471 株	2023年3月期3Q	27,603,126 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2021年度から2023年度を対象とした中期経営計画を策定し、経営基盤の強化、収益性の向上、ESG経営の進化の3つを柱に、「お客様に寄り添うチカラ」で持続的成長の実現を目指し、計画の達成に向け事業活動を推進しております。

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国の経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、国内の消費活動の持ち直しなどを背景に緩やかな景気回復が継続しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰やイスラエル・パレスチナ情勢など、地政学リスクの拡大により先行きは依然として不透明な状況で推移しています。

当社グループを取り巻く国内ITサービス業界では、「非接触」や「非対面」を実現するデジタル化のニーズが引き続き高く、AIやブロックチェーンなど、デジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）を中心に企業の投資意欲は引き続き高い状態にあります。

営業活動においては、金融機関を中心に、当社の主力である延滞債権管理システムの安定的な受注に加え、個人ローン業務支援システム「SCOPE」と業務の非対面化を実現するローンWeb受付システム「WELCOME」を組み合わせた新規販売および機能追加が堅調に推移しました。これらの当社システムは、申込用紙の削減や契約書類も電子化することで環境への配慮を実現しつつ、審査に費やす時間の短縮に貢献しております。また、延滞債権督促業務を無人化した「ロボティックコール」の販売が好調で、利用が広がっています。加えて、公共分野向けBPO（業務受託）サービスの受注が好調に推移した結果、受注高は15,884百万円（前年同期比129.1%）、受注残は16,721百万円（前年同期比112.6%）といずれも前年同期を大きく上回りました。

業績においては、金融機関向けに加え、社会インフラ向け通信システムの販売増や決済端末の販売増が寄与し売上増加を達成しました。また粗利率改善のための取り組みとして、開発内製化による外注加工費の原価低減などが奏功しました。販管費は、2023年4月からの賃金改定による人件費の増加、採用や教育費用の増加などの人財投資に注力した結果、2,860百万円（前年同期比111.5%）と増加しました。一方で、営業活動の強化による受注高・売上高の増加で費用増を吸収する企業努力に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は14,462百万円（前年同期比115.7%）、営業利益は2,684百万円（前年同期比124.8%）、経常利益は2,771百万円（前年同期比124.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,906百万円（前年同期比125.9%）と増収増益となりました。

なお、報告セグメント別の経営成績は次のとおりです。

（システム開発・販売）

基幹事業である金融機関向けのソフト開発、インフラ設備の更改、個人ローン業務支援システムなどの金融機関への新規取引拡大により販売は堅調に推移しております。また、マルチ決済端末「iRITSpay決済ターミナル」の販売も好調に推移しました。加えて、社会インフラ向け通信システムの販売が増加しております。その結果、受注高は8,706百万円（前年同期比112.8%）、売上高は8,168百万円（前年同期比121.1%）、セグメント利益は1,453百万円（前年同期比128.5%）となりました。

（リカーリング）

安定収益源である保守サービスに加え、公共分野向けBPO（業務受託）サービスにおいて政令市・中核市を中心に、既存契約先からの追加受注に加え、新規受託先の売上が計上されるなど引き続き好調に推移しております。その結果、受注高は7,178百万円（前年同期比156.7%）、売上高は6,293百万円（前年同期比109.4%）、セグメント利益は1,231百万円（前年同期比120.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は22,005百万円となり、前連結会計年度末に比べて338百万円増加いたしました。流動資産は17,823百万円となり、146百万円増加いたしました。主な原因は、有価証券が500百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が165百万円減少しましたが、棚卸資産が730百万円、現金及び預金が112百万円増加したことなどです。固定資産は4,182百万円となり、191百万円増加いたしました。主な原因は、投資有価証券が時価評価などにより303百万円増加したことなどです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,358百万円となり、前連結会計年度末に比べて141百万円減少いたしました。流動負債は4,092百万円となり、150百万円減少いたしました。主な原因は、契約負債が206百万円、その他が172百万円増加しましたが、賞与引当金が284百万円、買掛金が150百万円減少したことなどです。固定負債は265百万円となり、9百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は17,647百万円となり、前連結会計年度末に比べて479百万円増加いたしました。主な原因は、剰余金の配当の支払いにより835百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,906百万円増加したことなどです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の79.1%から80.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました予想からの修正はございません。

なお、業績予想は公表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,597,047	3,709,529
受取手形、売掛金及び契約資産	3,660,860	3,495,403
有価証券	9,499,685	8,999,601
棚卸資産	616,190	1,347,080
その他	302,752	271,543
流動資産合計	17,676,536	17,823,158
固定資産		
有形固定資産	903,083	857,332
無形固定資産		
のれん	61,577	20,972
その他	393,891	395,492
無形固定資産合計	455,468	416,465
投資その他の資産		
投資有価証券	1,770,808	2,074,247
繰延税金資産	248,163	184,457
その他	613,372	650,222
投資その他の資産合計	2,632,344	2,908,928
固定資産合計	3,990,896	4,182,726
資産合計	21,667,433	22,005,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,361,709	1,211,378
未払法人税等	614,638	520,766
賞与引当金	547,334	262,656
契約負債	717,642	923,887
その他	1,001,834	1,174,162
流動負債合計	4,243,160	4,092,851
固定負債		
退職給付に係る負債	202,707	206,047
株式給付引当金	38,850	55,500
その他	15,045	4,278
固定負債合計	256,602	265,825
負債合計	4,499,762	4,358,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,367,439	1,245,675
利益剰余金	15,403,603	15,914,574
自己株式	△1,179,155	△1,306,711
株主資本合計	16,716,556	16,978,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	428,436	657,325
繰延ヘッジ損益	1,158	-
退職給付に係る調整累計額	△871	△843
その他の包括利益累計額合計	428,723	656,482
新株予約権	22,390	12,519
純資産合計	17,167,670	17,647,208
負債純資産合計	21,667,433	22,005,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	12,502,107	14,462,623
売上原価	7,786,733	8,917,589
売上総利益	4,715,374	5,545,033
販売費及び一般管理費	2,564,679	2,860,187
営業利益	2,150,694	2,684,846
営業外収益		
受取利息	2,601	2,537
受取配当金	56,315	58,964
投資有価証券売却益	2,561	-
為替差益	1,892	-
持分法による投資利益	13,188	14,711
雑収入	18,634	21,119
営業外収益合計	95,193	97,333
営業外費用		
投資有価証券売却損	2,125	-
支払手数料	2,892	4,654
固定資産除却損	-	2,380
雑損失	13,163	3,720
営業外費用合計	18,181	10,755
経常利益	2,227,707	2,771,424
特別利益		
新株予約権戻入益	5,362	2,750
特別利益合計	5,362	2,750
税金等調整前四半期純利益	2,233,069	2,774,174
法人税等	718,871	867,267
四半期純利益	1,514,197	1,906,906
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,514,197	1,906,906

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,514,197	1,906,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,374	228,752
繰延ヘッジ損益	△10,364	△1,158
退職給付に係る調整額	908	20
持分法適用会社に対する持分相当額	52	137
その他の包括利益合計	17,971	227,751
四半期包括利益	1,532,169	2,134,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,532,169	2,134,658
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システム開発・販売」、「リカーリング」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類

「システム開発・販売」は、主にシステム機器販売、ソフトウェアやシステムインフラ基盤に関する設計・開発から導入・設置までの一貫したサービスを提供しております。

「リカーリング」は、主にソフトウェア保守、ハードウェアの保守・運用、クラウド、BPOサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム 開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,747,620	5,754,487	12,502,107	—	12,502,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,633	2,135	7,768	△7,768	—
計	6,753,253	5,756,622	12,509,875	△7,768	12,502,107
セグメント利益	1,131,158	1,019,536	2,150,694	—	2,150,694

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム 開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,168,704	6,293,918	14,462,623	—	14,462,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,359	1,780	6,139	△6,139	—
計	8,173,064	6,295,698	14,468,762	△6,139	14,462,623
セグメント利益	1,453,437	1,231,409	2,684,846	—	2,684,846